



和!わっ! 輪!

兵庫県立尼崎病院

〒660-0828

兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号

TEL 06-6482-1521 (代表)

FAX 06-6482-7430

<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

医療の交差点

 皮膚科部長 工藤比等志
 形成外科医長 夫 一龍

悪性の“ホクロ”を早期発見するための「ABCDE」

皮膚科と形成外科の一体となった皮膚腫瘍、特に“ホクロ”の診療

皮膚科と形成外科の連携診療

皮膚科と形成外科は、外来Aブロックの隣接した診察室で診療をおこなっています。診療科の看板は別々でも、病気によっては診療を互いに協力しあって患者さまに最善の結果が得られるよう努めています。

例えば、通常の診察の他、確定診断のための皮膚生検（病変組織の一部を取っておこなう病理組織検査）などの処置検査は主として皮膚科が担当し、形成外科では治療と確定診断のための手術を担当しています。

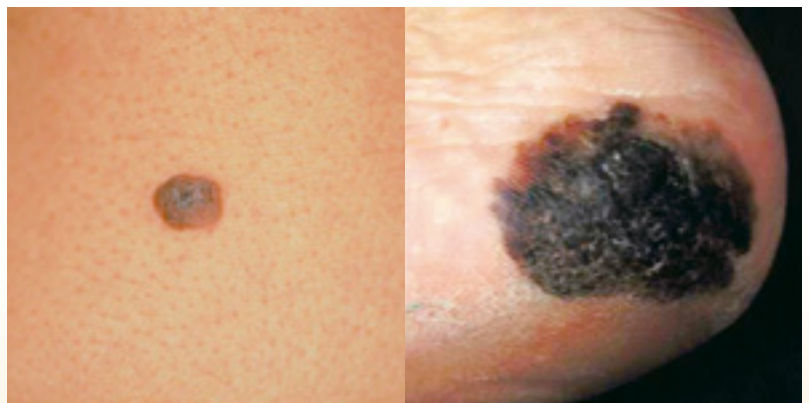
皮膚腫瘍もその一つで、今回は、皮膚科と形成外科が共同で取り組んでいる“ホクロ”の診療、特に“悪性のホクロ”についてご紹介したいと思います。


 左から 工藤比等志 医師、中嶋千紗 医師、
 生駒裕妃子 医師、夫 一龍 医師

ホクロって？

“ホクロ”は、最もありふれた皮膚の「病気」で、日本人の場合、1人あたり10個のホクロを持っていると言われています。ですから、病気といってもほとんど治療を必要としないという考え方もあります。

一般に“ホクロ”と呼ばれているものは、医学的に「色素性母斑」と呼び、母斑細胞（ホクロ細胞）の集団のことを言います。生まれつき皮膚に存在し、何かのきっかけでメラニン色素を産生すると小さな褐色や茶色の色素斑（しみ）として、眼で見えるようになります。母斑細胞の数が増加すると、皮膚から盛り上がったホクロになってきます。



良性のホクロ

悪性のホクロ

しかし、一口に“ホクロ”と言っても、さまざまな病気が含まれています。

通常の“ホクロ”以外で黒色に見える病気に、脂漏性角化症（老人性のイボ）や尋常性疣贅（ウイルス性のイボ）、血管腫や血腫などがあります。そして、中には、悪性黒色腫（メラノーマ）、基底細胞癌や有棘細胞癌などの“悪性のホクロ”のこともあります。

“悪性のホクロ”、悪性黒色腫とは、色素細胞が癌化したもので、良性のホクロは、簡単に悪性に変化するものではないと考えられています。しかし、悪性黒色腫は、最初、小さなホクロのように見えることがあり、増大を放置すると近くのリンパ節に転移し、さらには肺、肝臓、脳などの重要な臓器に転移することがあります。

🎯 “悪性のホクロ”を早期発見するためには…

悪性黒色腫の特徴を表す「**A B C D E**」を早期に見つける必要があります。

- A** : asymmetry 形が非対称性
- B** : border 辺縁が不規則
- C** : color 色調が不規則
- D** : diameter 大きさ（直径）が6 mm以上
- E** : elevation 形態が隆起性病変

AからEのどれか一つでもあれば“悪性のホクロ”というわけではなく、総合的に判断します。

特に、色調が濃淡不整であったり、周りに墨のように黒い色素がにじみ出ていたりするような場合は要注意で、1年以内に急に大きく（大きさが直径6 mm以上）なった場合には悪性を疑います。日本人では足の裏、手のひらなどに好発します。

実際には、皮膚科医や形成外科医でも鑑別に困ることもあります。その場合、最終的には病理組織検査と言って、一部または全病変を採取・摘出して細胞検査をおこない、「良いもの」か「悪いもの」かを調べます。

🎯 もし、自分の“ホクロ”が気になったら…

当院における“ホクロ”診察の流れを述べます。

もし、“ホクロ”が気になったら、まずは皮膚科にお越しください。皮膚科にてホクロを診察させていただき、悪性黒色腫などの皮膚癌との鑑別診断をおこないます。当院皮膚科にはダーモスコープという拡大鏡があり、黒い腫瘍（できもの）がホクロか他の種類の腫瘍かを区別する時や、ホクロが良性か悪性かを鑑別する時に役立ちます。

皮膚科での診療にて、病気が“悪性のホクロ”と確定診断された場合や良性のホクロでも切除を希望される場合、また、確定診断に至らず“悪性のホクロ”を否定できない場合は、引き続き形成外科を紹介させていただきます。手術にて病変摘出し、治療とともに最終病理診断を下すことが大切です。手術後の管理と病理組織検査の結果説明は、形成外科でおこないます。手術の結果、色素斑がホクロではなく皮膚癌の一種であったり、術前よりも“悪性のホクロ”の進行度がひどい場合には、再度、拡大切除手術を行うこともあります。



手術前のホクロ

手術跡（きれいな手術跡）
形成外科手術の真髄を

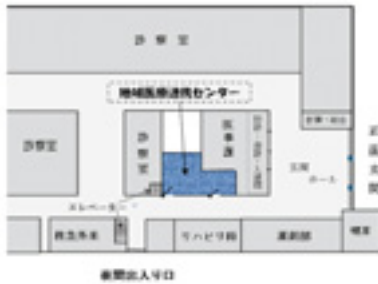
一度、自分の体のホクロを調べてみてください。

地域医療連携センターへ！ 場所と名前が変わり、リニューアルしました

地域に根付いた、身近な病診連携を！

平成19年8月13日より、当院の地域医療室は、今までの2階（管理病棟）より1階の外来部門へ移動し拡張しました（下図参照）。

それに伴い、呼称も、現在の「県立尼崎病院 地域医療室」より「**県立尼崎病院 地域医療連携センター**」に変更になりました。



地域医療連携センターの役割

我が県立尼崎病院は、皆さまの‘かかりつけの先生(医院・診療所など)’と役割分担（病診連携）をおこない、阪神間の基幹病院として患者さまへ専門的な高度医療を提供しながら、地域に開かれた病院づくりを目指しています。

今回リニューアルした“地域医療連携センター”では、

- 1) 地域医療機関（かかりつけ医）からの診療・検査・入院などの依頼対応（前方支援部門）
- 2) 入院患者さまの在宅療養や転院への退院支援（後方支援部門）
- 3) 県民の皆さまや地域医療機関の先生方への医療情報の提供
- 4) 今まで、医事課での外来患者様を対象とした医療相談・福祉業務

などを一体化し、とり行なっています。



これからも、“地域医療連携センター”では、当院と‘かかりつけの先生’方とのパイプ役として、円滑な医療連携を患者さまに提供することを約束したいと思います。

（地域医療連携センター 長 齋田 宏）

後列左より 中西、和田、寺本、松本
前列左より 矢野、齋田、鯨島

[I] 地域医療機関（かかりつけ医）との病診連携

- 地域医療機関からの紹介患者さまの診察予約受付け
- 地域医療機関からの特殊検査（CT、MRI、内視鏡検査など）の予約受付け
- 紹介医への当院で実施された検査結果および診療状況の報告
- 地域医療機関からの緊急患者さまに対する診察または入院要請への対応
- 地域医療機関からの入院・転院の依頼に関する取り次ぎ

[II] 入院および外来患者さまへの支援

- 地域医療機関への転院先および在宅療養の相談と紹介
- 介護保険、在宅療養や訪問看護への支援
- 社会資源の活用相談と支援、医療相談
- 医療費や生活費などの経済的問題の相談、家族内での悩み相談、他
- 身体障害や年金の手続きの相談

[III] 患者さま、地域医療機関への医療情報提供

- 広報誌「和！輪！わっ！」の定期発行
- 市民健康講座「すこやかセミナー」定期開催
- 医療機関との地域医療連携懇話会の開催



それでもあなたは、まだ院内でタバコを吸いますか？!

吸殻ポイ捨ての裏側で…。 --- 敷地内禁煙への啓発パトロール

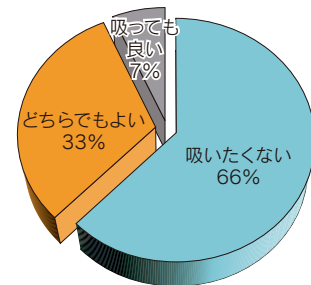
尼崎病院では、今年6月18日から**敷地内禁煙**となり、職員も患者様も病院内では喫煙できなくなりました。しかし、現実には、未だ**敷地内禁煙**が院内に完全徹底しておらず、病院の出入り口にて喫煙されている方も見かけられ、多くのタバコの吸殻が敷地内に捨てられています。院内アンケート調査では、8割以上の患者さまから「病院内ではタバコの煙は、吸いたくない。」という貴重なご意見をいただきました。この声をまだ院内で喫煙されている一部の患者さまに届けたく、敷地内禁煙推進委員会では、メンバーが毎週月曜日と木曜日の夕方に敷地内のパトロールを行い、ポイ捨てされたタバコの吸殻を一つずつ拾いながら喫煙されようとしている方に声を掛け、**敷地内禁煙**にご協力をお願いしています。

私たちの活動に共鳴いただける方はどなたでも歓迎です。この活動の輪が広がり、少しでも**敷地内禁煙**が、院内に普及して行けばと思っています。

(敷地内禁煙推進委員会 石沢博子)



敷地内禁煙アンケート結果



癒しの環境づくり

外来診療フロアに“ミニ写真展コーナー”を設置しました。展示された写真は、当院の職員が、折に触れ感動した情景を撮ったものです。とかく重く、曇るような空気が漂う病院に、温もりと癒しの空間を求めてみました。病院の廊下を歩く患者さまや職員の安らぎのコーナーとなればと願っています。

(患者サービス向上委員会&アメニティ企画向上部会)



編集後記

今回のテーマは、「ホクロ」でしたがいかがでしたでしょうか？

語源を調べて見ると、昔は、「ははくそ(母糞)」と言われていたそうですが、そこから「ははくろ(母黒)」→ハワクロ→ハウクロ→ホウクロを経て室町時代の末期にホクロになったというのが通説だそうです。私は、「ホクロ占い」の運勢が良いからとそのままにしないで、ABCDEを思い出し、ホクロが急激に大きくなってきたり、増えてきた場合は、皮膚科を受診して専門医に相談してくださいね。



(検査・放射線部 竹中達明)

「和！輪！わっ！」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

Mail info@amahosp.amagasaki.hyogo.jp

Tel 06-6401-5115 **Fax** 06-6482-5774

県立尼崎病院
地域医療室